

### 3位 「新宿とマカオの今後」

胡 静藝（コセツゲイ）（新宿御苑学院）

皆さんこんにちは。私は中国マカオからきました胡静芸と申します。日本に来て2ヶ月経ちました。今日は私が生まれ育ったマカオの紹介と国際化についてお話したいと思いません。

マカオという町を皆さんはご存知ですか。そうです。一番有名なのはカジノです。収益からいうとアメリカのラスベガスを抜いて世界一になりました。他にはギネスブックにも認定されている高さ233メートルのバンジージャンプも有名です。

マカオは国ではありませんが、普通の都市でもありません。マカオは1999年にポルトガルから中国に返還されましたが、現在も政府や法律はマカオ独自のものです。中国との間には国境のような境界がありますから、マカオに入るときには手続きが必要です。このように中国の一部にもかかわらず、まるで一つの国のよう存在しています。

私は、新宿で生活しているうちにマカオと新宿は似ていると気がつきました。一つは道路です。マカオも坂が多く、狭い道が多いです。車も左側通行なのでとても親近感を覚えました。

それからもう一つは、外国人がたくさん住んでいることです。マカオは中国に返還されるまで120年間ポルトガル領でした。ですから観光客だけではなく、長い間生活している外国人も非常に多いです。新宿も留学生やビジネスマンなどがたくさん暮らしています。

そして、マカオも新宿も外国人が地元の人と一緒に、より楽しく暮らしていけるように国際化を進めていくことが必要だと思います。それには、言葉と外国人が暮らしやすいシステム作りが重要だと思います。

まず、言葉について言うと、マカオの方が進んでいます。マカオは公用語が中国語とポルトガル語の二つがあります。英語教育も幼稚園から行われていますので、話せる人は多いです。ですから観光地だけでなく、警察、銀行、政府でも3カ国語を使うことができます。

一方日本では、観光案内所やデパートに外国語で書かれたパンフレットがありますが、町の中に会話のできる人が少ないと思います。日本も英語教育が充実していると聞いていますので、勇気をもって短い言葉から話してはどうでしょうか。言葉は“案ずるより生むがやすし”です。

日本の外国人のためのシステムはすばらしいと思います。外国人登録証の発行や国民健康保険の加入制度がしっかりしています。私は、胃潰瘍の持病があります。日本に来たばかりの頃、胃が痛み始めました。日本の物価は高いですから医療費も高いだろうと思い、心の中では“お財布が痛いなあ”と思いました。しかし病院での支払いの時に金額を見て驚きました。想像していたよりずっと安かったです。

それに比べ、マカオの外国人のためのシステムは完全ではありません。外国人がアルバ

イトをするとき手続きが面倒です。給料も安いです。しかし、日本ではアルバイトをするとき面倒な手続きはいりません。給料も日本人と同じです。これらのことを考えても日本では外国人のためのシステムがしっかりと作られていると思います。

マカオにもそして皆さんの町にも、これからさらにたくさんの外国人が住むようになると思います。私はマカオのいいところをたくさん発信して、皆さんのお役に立ちたいと思います。そして、日本の良いところを吸収してマカオの人に伝え、マカオをよりよくしていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。